

令和7年度
第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

令和7年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 はじめに	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 施策ごとの実施状況	3
(2) 政策ごとの実施状況	9
4 総括	10
5 各事業の実施状況管理個票	11

令和7年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告します。

1 はじめに

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ、第1次基本計画を策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、第2次基本計画（平成27年度～30年度）、第3次基本計画（平成31年度～令和4年度）を経て、令和5年度から令和12年度の8か年を計画期間とした第4次基本計画（以下「本計画」という。）を策定し、施行しています。

2 基本計画の概要

本計画では、静岡市が「SDGs未来都市」や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた「脱炭素先行地域」に選定された地域であること、また、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点も踏まえ、発展的な「ものづくり創造都市」の実現に向け、以下のとおり目標を定めています。

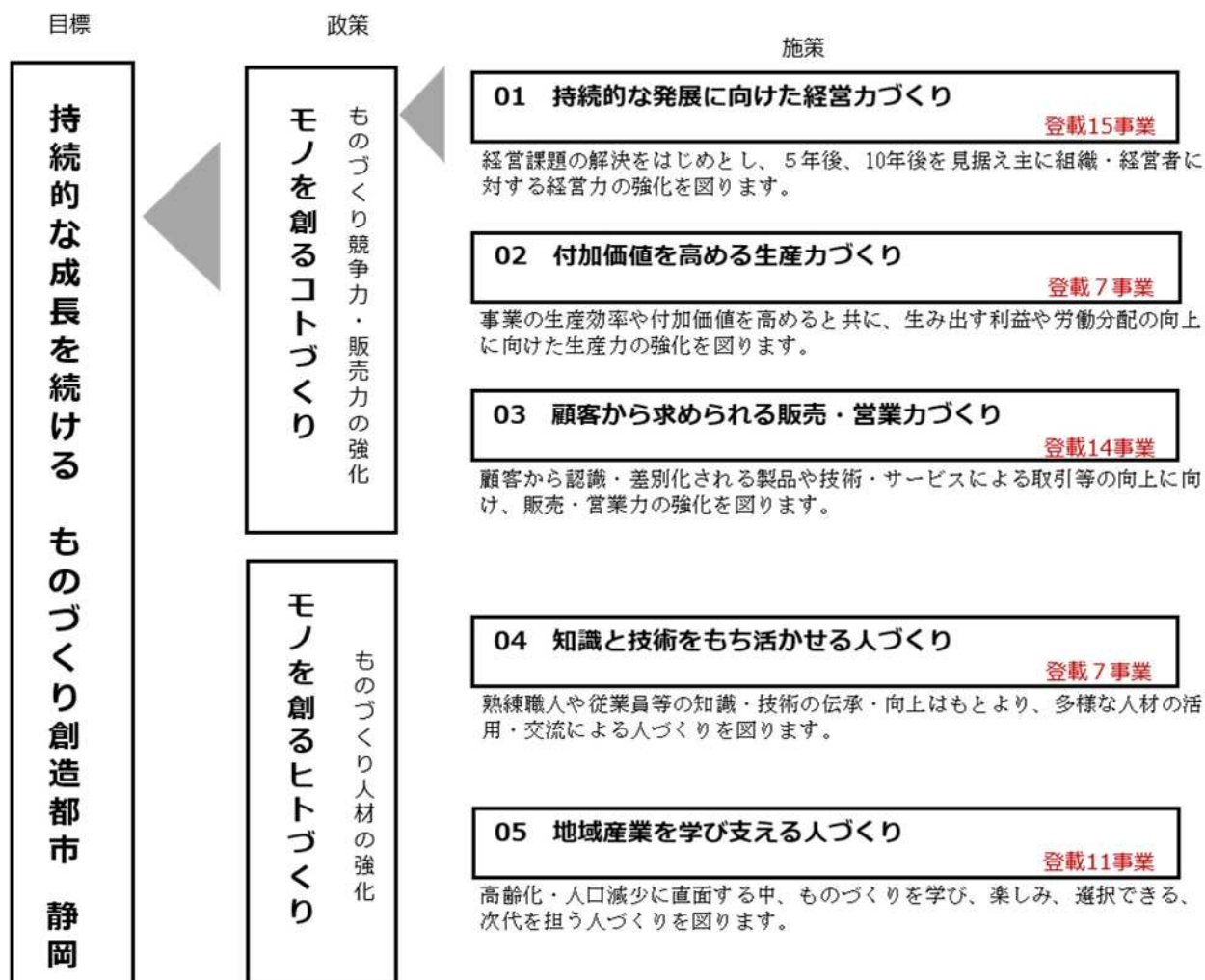
本計画の目標

持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡

本計画の策定にあたっては、目標を達成するために、2つの基本政策を定め、さらにそれら政策に基づく5つの施策を定めています。

また、本計画は、静岡市総合計画及び静岡市産業振興プランと連動を図りながら推進するものですが、主たる対象にとって真に必要とされる計画となるよう、現況や動向等を踏まえ、柔軟性のある見直しを図ることとしています。

計画の体系図



3 実施状況等

本計画に位置付けられた登録事業は延べ54事業です。また、これらのうち、静岡市総合計画に搭載している事業と、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点に係る事業を本計画において重点的に取り組む事業として位置付けています。

本計画の目標の達成に向けた事業を実施する担当課は、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、産業基盤強化本部、道路計画課、中山間地振興課、生涯学習推進課です。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、目標を達成するための達成指標を定め、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

(1) 施策ごとの実施状況

登載事業の達成状況等については、表1のとおり事務事業評価の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施しています。なお、達成指標を単年度評価できないものについては、「－」として区分しています。

事業評価	達成指標に対する達成状況
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
－	単年度評価できないもの

表1 達成指標に対する各種事業の達成状況

次に、登載事業の達成指標に対する達成状況等を施策ごとに取りまとめ、施策別の実施状況について表2のとおり評価しています。

施策別評価	施策別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S＋Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S＋Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S＋Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S＋Aの割合が50%未満）

表2 施策別実施状況の評価

①施策 1 持続的な発展に向けた経営力づくり

施策1については、表3のとおり、15事業のうち、「S」が8項目、「A」が7項目となったことから、施策別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

事業名称			事業概要	達成指標	R7 事業結果	事業評価
01 持続的な発展に向けた経営力づくり						
1-1		中小企業融資制度による資金調達支援	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	融資制度申込件数 700件/年	1,094件/年 (達成率156.3%)	S
1-2		ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る	専門家派遣数 145件/年	148件/年 (達成率102.1%)	A
1-3		事業承継支援事業	案件の掘り起こし及び県の事業承継引継ぎ支援センターとのマッチング等の支援	個別支援着手率100%	100% (達成率100%)	A
1-4	★	IT導入に向けた生産性向上支援事業	IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援	IT導入に関する相談件数 150件/年	282件/年 (達成率188%)	S
1-5		中小企業等DX支援事業 (顧客管理・販路開拓・社内情報共有等)	顧客管理、営業支援などDX導入により生産性の向上等を目指す事業者等への伴走支援	支援件数 10件/年	12件/年 (達成率120%)	S
1-6	★	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の運営	プロジェクト創出件数 10件/年	10件/年 (達成率100%)	A
1-7	★	スタートアップ協業等促進事業	スタートアップとの連携による地域課題解決やスタートアップに対する社会実装等への支援、次世代人材育成を行い、新たな価値の創造を目指す	①社会課題解決のための共創プロジェクト創出数 5件 ②市内企業とスタートアップの協業プロジェクトの創出数 10件	①7件 (達成率140%) ②11件 (達成率110%)	S
1-8		産業財産権出願事業助成	自ら開発した技術や商品について、特許及び実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	出願件数 12件/年	11件/年 (達成率91.7%)	A
1-9	★	オープンファクトリー推進事業	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業 80%	83.3% (達成率104.1%)	A
1-10	★	プラモデル化計画推進事業	市民等が「プラモデルのまち」を体感できるプラモニユメントの設置などを通じ、本市のシティプロモーションとプラモデル産業のPRを進める	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%	89.8% (達成率112.3%)	S
1-11	★	企業立地促進事業	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進	企業立地件数 20件/年	24件/年 (達成率120%)	S
1-12		企業立地用地開発推進事業	新規企業の進出・既存企業の生産性向上を促進し、企業誘致・留置を図るため、企業立地用地の確保を促進	開発候補地における用地候補地調査実施箇所数 2箇所/年	5箇所 (達成率250%)	S
1-13		(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業	物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施	①道路工80mの実施 ②用地取得25件の実施	①道路工81m (達成率101.3%) ②用地取得26件 (達成率104%)	A
1-14		静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理運営事業	ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援及び広域物資拠点等公共的機能の提供	施設利用率 40%以上/年	50.1% (達成率125.3%)	S
1-15		越境EC支援事業	越境ECに取り組む事業者に対し、専門家による伴走支援を行うことで、市内事業者の海外販路拡大を支援	支援者数 8社/年	8社/年 (達成率100%)	A

表3 施策1達成状況

★マークは重点的に取りくむ事業

②施策2 付加価値を高める生産力づくり

施策2については、表4のとおり、7事業のうち、「S」が2項目、「A」が5項目となったことから、施策別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

		事業名称	事業概要	達成指標	R7 事業結果	事業評価
02	付加価値を高める生産力づくり					
2-1	★	中小企業事業高度化事業助成	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠点到機械設備を導入する経費の助成	機械設備設置件数 26件/年	25件/年 (達成率96.2%)	A
2-2		中小企業等DX支援事業(製造業向けデータ活用)	専門家の伴走支援による、製造事業者の生産性向上や受注増など競争力強化を図ることを目的とした、データ分析による製造工程の効率化	支援事業者数 10者/年	10者/年 (達成率100%)	A
2-3		現場改善支援事業	専門アドバイザー派遣による5Sや技術力向上、製品の高付加価値化を支援	支援事業者数 12者/年	13者/年 (達成率108.3%)	S
2-4		産学連携事業(産学共同研究委託事業)	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援	委託契約件数 6件/年	8件/年 (達成率133.3%)	S
2-5		新商品開発支援事業(静岡商品開発プロジェクト)	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援	新商品開発数 6件/年	6件/年 (達成率100%)	A
2-6	★	オクシズ漆の里構想事業	ウルシの生育管理を行い、市内産漆を製造することで、市内の重要文化財及び地場産業等での活用を目指す	植樹地の維持	植樹地の維持 (達成率100%)	A
2-7		中小企業等DX支援事業(製造業向けSier活用)	Sierを活用した製造工程の省力化・効率化に向けた伴走支援	支援者数 5者/年	5者/年 (達成率100%)	A

表4 施策2達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

③施策3 顧客から求められる販売・営業力づくり

施策3については、表5のとおり、14事業のうち、「S」が7項目、「A」が4項目、「B」が2項目、「C」が1項目であったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R7 事業結果	事業評価
03 顧客から求められる販売・営業力づくり					
3-1	★ 持続的発展に向けた競争力強化事業助成	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	事業活用件数 40件/年	45件/年 (達成率112.5%)	S
3-2	大規模展示会共同出展事業	国内最大の展示会への共同出展による中小製造事業者の競争力の強化を支援	名刺交換をした件数550件/年	647件/年 (達成率117.6%)	S
3-3	商品開発及び販路開拓支援事業	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援(2か年計画 1年目:商品開発、2年目:販路開拓)	事業進捗率 100% (2か年計画における各年度の事業内容の進捗率)	100% (達成率100%)	A
3-4	中小企業の海外展開に対する支援	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	商談成立件数 36件以上/年	27件/年 (達成率75%)	B
3-5	日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成	静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援	セミナー開催回数 6件/年	4件/年 (達成率66.7%)	C
3-6	伝統工芸等ものづくり事業者支援事業	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	展示会等出展 1回/年	1回/年 (達成率100%)	A
3-7	ニューウェーブしずおか創造事業助成(地場産業支援事業)	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成	参加事業者数 6者/年	6者/年 (達成率100%)	A
3-8	★ 特産品展示コーナー(駿府菜市)運営事業	地場産品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府菜市「特産品展示コーナー」での企画展示	工芸品の年間売上金額 31,600千円/年	44,993千円/年 (達成率142.4%)	S
3-9	産業フェアしずおか開催事業助成	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	来場者数 52,500人/年	45,700人/年 (達成率87%)	B
3-10	伝統工芸品産業育成・振興事業(しずおか特産品まつり)	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催	来場者数(春・秋) 6,900人/年	7,400人/年 (達成率107.2%)	S
3-11	ホビーのまち静岡推進事業	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%	89.8% (達成率112.3%)	S
3-12	ホビー産業育成支援事業	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%	89.8% (達成率112.3%)	S
3-13	プラモデル化計画推進事業(コラボイベント創出事業)	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベントの創出	コラボイベントの実施件数 3件/年	12件/年 (達成率400%)	S
3-14	工芸品価値創造事業	伝統工芸品に係る市場調査、ブランディング及びマーケティング戦略の立案、新商品の企画・開発、国内外への販路開拓・確立を総合的に支援することで、持続的なビジネスモデルを創出する	工芸品価値創造事業実行委員会の開催 2回/年	2回/年 (達成率100%)	A

表5 施策3達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

④施策4 知識と技術をもち活かせる人づくり

施策4については、表6のとおり、7事業のうち、「S」が3項目、「A」が2項目、「B」が2項目であったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R7 事業結果	事業評価
04 知識と技術をもち活かせる人づくり					
4-1	★ 地場産業後継者育成事業（クラフトマンサポート事業）	「クラフトマンサポート事業」として地場産業界の後継者の確保、若手職人の育成・定着を支援	新規制度利用者数（長期支援・雇用奨励） 5人/年	6人/年 (120%)	S
4-2	伝統工芸技術アーカイブス事業	伝統工芸技術で存続の危機にある技法を映像化等によりアーカイブし保存、継承を図る	映像化本数 1本/年	1本/年 (100%)	A
4-3	地場産業支援事業助成（伝統工芸技術保存講習会）	業界の若手後継者に対する「伝統工芸技術保存講習会」の実施に係る経費の助成	講習会参加者数 延べ36人/年	延べ42人/年 (116.7%)	S
4-4	★ 中小企業DX等人材育成支援事業	事業者が従業員向けに実施するリスキリングに係る経費の一部を助成	当該事業を活用し、人材育成に取り組む事業者数 15件/年	12件/年 (80%)	B
4-5	技能功労者表彰事業	市の産業の向上に寄与し、又は功績のあった技能者を静岡市技能功労者として表彰	表彰者数 26者/年	19者/年 (73.1%)	B
4-6	中小企業技術表彰事業	新規、又は独自性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を行う中小製造事業者を表彰	表彰者数 2者以上/年	4者/年 (200%)	S
4-7	多様な人材の活躍応援事業所表彰事業及び取組の見える化	女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取り組む事業所を表彰	表彰者数 5者/年	5者/年 (100%)	A

表6 施策4 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

⑤施策5 地域産業を学び支える人づくり

施策5については、表7のとおり、11事業のうち、「S」が4項目、「A」が5項目、「B」が1項目、「C」が1項目となったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R7 事業結果	事業評価
05 地域産業を学び支える人づくり					
5-1	★ プラモデル化計画推進事業(ものづくりプラモデル大学)	「模型の世界首都・静岡」で「プラモデル」業界を支える人材の育成を目的に、業界関係者とともに「プラモデル」について学ぶ実践的な講座	講座受講者の満足度 80%/年	80.6% (達成率100.8%)	A
5-2	★ プラモデル化計画推進事業(静岡ホビーショー小中高校生招待)	静岡大学教授及び模型メーカー社員を講師として学校へ派遣し、本市のプラモデル産業を知り・体験し・理解する「ものづくりキャリア教育推進事業」を実施	授業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	94% (達成率104.4%)	A
5-3	★ プラモデル化計画推進事業(静岡ホビーショー小中高校生招待)	静岡ホビーショー小中高校生招待日において、市内小中高生の招待事業の実施及び模型メーカー等と協働した合同体験会の運営	招待事業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	92% (達成率102.2%)	A
5-4	★ プラモデル化計画推進事業(全国プラモデル選手権大会)	全国の高校生を対象にしたプラモデルの展示会及びコンテスト大会	全国大会への参加校数 50校	61校 (達成率122%)	S
5-5	子どもクリエイティブタウンでのしごと・ものづくり講座(子どもクリエイティブタウンでの職場体験等)	仕事体験やものづくり体験を通じて、社会や経済の仕組みを学び、地域産業に対する理解促進を図るとともに、次世代を担う人材を育成する	年間利用者数 100,000人/年	113,627人/年 (達成率113.6%)	S
5-6	地場産品体験学習事業	ものづくりと地場産品に対する興味を喚起し、地場産業のPRと将来の後継者育成を図る	体験学習申込学校数 延べ40校/年	35校/年 (達成率87.5%)	B
5-7	駿府匠宿運営事業	駿府匠宿の運営及び創作体験や展示を通じた工芸に親しみ歴史に触れる機会の提供	創作体験者数 30,000人/年	37,904人/年 (達成率126.3%)	S
5-8	生涯学習施設でのものづくり体験学習機会の提供	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	主に小学生を対象とした機会提供数 ①8施設②12講座	①24施設 (達成率300%) ②43講座 (達成率358.3%)	S
5-9	★ 地元就職・U/Iターン就職促進事業	市内で働く社会人との交流機会を提供し、若者の企業研究や就業意欲の促進を図る	①市内企業への就職関心度(大学生向):96% ②本事業が進路決定の参考になった割合(高校生向):97%	①87.2% (達成率90.8%) ②98.5% (達成率101.5%)	A
5-10	地域産業地域おこし協力隊	地域おこし協力隊により地場産品・伝統工芸品の情報発信の強化、販売促進、担い手育成の支援の実施	地域おこし協力隊の隊員数2名	1名 (達成率50%)	C
5-11	★ (再掲)オープンファクトリー推進事業	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業 80%	83.3% (達成率104.1%)	A

★マークは重点的に取り組む事業

表7 施策5達成状況

(2) 政策ごとの実施状況

政策ごとに評価をみると、「モノを創るコトづくり」に関しては3施策のうち2施策が「◎（期待を上回る）」、1施策が「○（期待どおり）」となりました。

「モノを創るヒトづくり」に関しては、2施策のいずれもが「○（期待どおり）」となりました。

政策	施策	登載 事業数	事業評価	該当事業数	「期待どおり」 (S+A)以上の 事業の割合	施策ごとの 評価
モノを創るコトづくり	1 持続的な発展に向けた経営力づくり	15 (評価対象15)	S	8	100%	◎
			A	7		
			B	0		
			C	0		
	2 付加価値を高める生産力づくり	7 (評価対象7)	S	2	100%	◎
			A	5		
			B	0		
			C	0		
	3 顧客から求められる販売・営業力づくり	14 (評価対象14)	S	7	79%	○
			A	4		
			B	2		
			C	1		
モノを創るヒトづくり	4 知識と技術をもち活かせる人づくり	7 (評価対象7)	S	3	71%	○
			A	2		
			B	2		
			C	0		
	5 地域産業を学び支える人づくり	11 (評価対象11)	S	4	82%	○
			A	5		
			B	1		
			C	1		

表8 達成状況一覧

4 総括

令和7年度における静岡市のものづくり産業を取り巻く環境は、昨今の原油・原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇による生産コストの増加、生成AIをはじめとするデジタル技術の飛躍的進化などにより、急速に変化しました。こうした情勢下において、目標である「持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡」の達成のために、「モノを創るコトづくり」と「モノを創るヒトづくり」という2つの政策と5つの施策に基づき、各事業に取り組みました。

実施した事業のうち、企業立地促進事業、スタートアップ協業等促進事業及び特産品展示コーナー（駿府楽市）運営事業については、積極的な企業訪問や情報発信、季節や行事に合わせたPRなどに取り組んだ結果、達成指標を上回る実績を上げることができました。一方で、中小企業DX人材育成支援事業、地場産品体験学習事業及び中小企業の海外展開に対する支援事業など、達成指標を下回った事業もあり、これらについては、課題を踏まえて検討した改善点を次年度以降の取組に反映させていきます。

今後も、毎年度実施状況を調査・確認するとともに、社会情勢の変化や事業者のニーズ等に応じ機動的かつ柔軟に登載事業の見直しを図り、適切な支援が行えるよう取り組んでいきます。

(添 付 資 料)

各事業の実施状況管理個票

事業 1-1	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度	
	事業名	中小企業融資制度による資金調達支援	予算額		110,000 千円	
			決算見込額		82,427 千円	
	事業概要	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	取組 状況	事業結果	市内の中小企業が、経営上必要とする資金を円滑に調達できるよう融資制度を設け、利子及び信用保証料の一部を助成した。 制度融資申込件数 1,094件 (内訳) 小口資金 22件 短期経営改善資金 219件 産業振興資金 644件 創業支援資金 22件 経営改善資金 187件	
	達成指標	融資制度申込件数 700件/年	達成 状況	R8.3.31 現在	1,094件/年	(達成率)156.3 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の 未達成 理由等
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を 推進します			
		施策	02 経営基盤・競争力の強化			
産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	
	政策					
	施策					
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		・静岡市制度融資に比べて金利等の条件が有利な経済変動対策貸付(新型コロナウイルス感染症対応枠)の新規借入が令和5年度で終了したことや、事業者の資金需要旺盛などの要因で、令和7年度の新規申込件数は前年比234件増加し、目標を達成した。 ・引き続き、事業者のニーズや社会経済動向を踏まえ、必要に応じて融資制度の新設を検討していく。	

事業 1-2	ものづくり 基本計画		方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度	
	事業名	ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣		予算額		32,661 千円	
				決算見込額		29,804 千円	
	事業概要	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る		取組状況	事業結果	産業支援施設である、静岡産学交流センターにおいて、以下の支援を実施した。 ・中小企業診断士による無料窓口相談の実施 平日:13時～19時 ・IT専門家による無料WEBマーケティング相談の実施 週1～2日実施 ・4分野の専門家派遣を実施 (1)経営分野 (2)情報化分野 (3)マーケティング分野 (4)デザイン分野	
	達成指標	専門家派遣数 145件/年		達成状況	R8.3.31 現在	148件/年	(達成率)102.1 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を 推進します				
		施策	02 経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・需要の増加に伴い、令和6年度からWEBマーケティング相談の日数を増加して対応している。 ・今後もニーズに合わせて相談内容の充実を図っていく。	
		政策					
		施策					
	担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)			

事業 1-3	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	事業承継支援事業		予算額	833 千円		
				決算見込額	833 千円		
	事業概要	案件の掘り起し及び県の事業承継引継ぎ支援センターとのマッチング等の支援		取組状況	事業結果	・卸売業及び小売業の60代以上の経営者173者に対しアンケート調査を実施した。 ・調査項目は後継者の有無、相談先の有無、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターの認知度等とした。 ・173者のうち78者から回答を得た。 ・R6年度とR7年度に実施したアンケート調査の結果を受けて、支援対象者21者を選定した。	
	達成指標	個別支援着手率100%		達成状況	R8.3.31 現在	100%	(達成率)100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	02 経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・R8年度は、未実施の業種について、アンケート調査を実施する。 ・アンケート調査を分析し、支援対象者を選定し、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターの個別支援につなげる。 ・業界団体組合の総会等、事業者が集まる場で事業承継研修とアンケートを実施し、案件の掘り起しを行う。	
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 1-4	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	IT導入に向けた生産性向上支援事業	予算額		4,900 千円		
			決算見込額		4,800 千円		
	事業概要	IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援	取組 状況	事業結果	静岡商工会議所へ委託し、「ITなんでも相談窓口」を設置。窓口相談、オンライン相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進と支援を行った。		
	達成指標	IT導入に関する相談件数 150件/年	達成 状況	R8.3.31 現在	282件/年	(達成率)188 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	単なるIT相談窓口ではなく、業務課題の整理からIT導入、運用定着、効果測定までを一体的に支援する体制へ見直す必要がある。特に、生産性向上に直結する相談への重点化、導入後のフォローアップ、成果指標による効果把握、補助金制度への円滑な接続を改善点とする。	
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 1-5	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業 (顧客管理・販路開拓・社内情報共有等)		予算額	14,000 千円		
				決算見込額	10,849 千円		
	事業概要	顧客管理、営業支援などDX導入により生産性の向上等を目指す事業者等への伴走支援		取組状況	事業結果	市内中小企業12社に対して、デジタル活用による業務改善を伴走支援した。 ・支援回数10回(企業現地5回、オンライン5回) ・成果発表会を開催し、市内中小企業に対して事例を展開(令和8年3月・94名参加) ・事例集を市HPに掲載し、市内中小企業約1,000社に展開 ・伴走支援で立案したデジタル活用計画の実現のため、希望する企業に対してデジタルツールを導入するための補助金を交付した。	
	達成指標	支援件数 10件/年		達成状況	R8.3.31 現在	支援件数 12件/年	(達成率) 120 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業 評価	目標の 未達成 理由等	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
産業振興 プランの 位置づけ	分野			次年度 に向けた 改善点		・DX推進という性質上、短期間での成果創出には一定の制約があり、企業ごとのDXリテラシーや組織体制の差異により、支援の進捗や成果の発現にばらつきが見られた。初期段階における診断や支援内容の段階設計を見直す必要がある。 ・事業期間終了後の継続的な取り組み、いわゆる「自走化」への移行については、依然として課題が残る。フォローアップ支援やコミュニティ形成、継続的な相談機能の整備といった仕組みの構築が求められる。 ・生産性向上のための取組を継続していく必要があるが、伴走支援の支援対象事業者には限りがあることが課題である。成功事例を公表する取組を実施しているものの、取組を行う事業者をさらに拡大させる取組について、専門家にも意見を求めながら関係機関と連携して検討する。	
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課			その他 (特記事項)			

事業 1-6	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)		予算額	26,400 千円		
				決算見込額	20,661 千円		
	事業概要	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の運営		取組状況	事業結果	・新規事業創出に向けて、参加者同士の交流・マッチングイベントや学生の市内企業へのインターン事業などを開催することで、異業種間や企業と学生がつながる機会を創出した。 ・新規会員数:1504名 ・交流イベント開催数:172回 ・相談・マッチング件数 587件	
	達成指標	プロジェクト創出件数 10件/年		達成状況	R8.3.31 現在	10件/年	(達成率)100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	01 協働・共創体制の構築				
産業振興 プランの 位置づけ	分野			次年度 に向けた 改善点	会員数及び利用者が令和7年度から飛躍的に増加し、交流イベントの開催数は前年を大幅に上回っており、多様なプレイヤーの交流促進と新たな価値の創出に向けた取組が実施されているため、引続き現行の運営体制を継続していく。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

事業 1-7	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	スタートアップ協業等促進事業	予算額		284,050 千円		
			決算見込額		154,942 千円		
	事業概要	スタートアップとの連携による地域課題解決やスタートアップに対する社会実装等への支援、次世代人材育成を行い、新たな価値の創造を目指す	取組状況	事業結果	・社会課題解決に向けた共創促進のため「知・地域共創コンテスト」を開催し、選定企業に対し社会実装に向けた伴走支援を実施した。(応募数205件、選定数:7件) ・スタートアップとの協業による市内企業の新規事業創出を支援する「オープンイノベーションプログラム」及び地域企業の後継者世代の新規事業挑戦を支援する「アトツギベンチャープログラム」を開催し、選定企業に対し事業アイデアの構築及び事業化に向けた実証事業の支援を実施した。(採択数15社、内協業プロジェクト数11件)		
	達成指標	①社会課題解決のための共創プロジェクト創出数 5件 ②市内企業とスタートアップの協業プロジェクトの創出数 10件	達成状況	R8.3.31 現在	① 7件 ② 11件	(達成率)①140 ②110 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策					01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します
		施策					04 創業支援の充実
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	現在は公募期間を設け、提案募集及びマッチングをしているが、今後は通年で課題解決につながるプロジェクトが創出されるように常設型のプラットフォームの構築を検討している。	
		政策					
施策							
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

事業 1-8	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	産業財産権出願事業助成	予算額		1,200 千円		
			決算見込額		1,100 千円		
	事業概要	自ら開発した技術や商品について、特許及び 実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	取組 状況	事業結果	静岡県発明協会と連携し、市内中小製造事業者の産業財産権出願を 支援した。 【実績】 支援件数:11件		
	達成指標	出願件数 12件/年	達成 状況	R8.3.31 現在	11件/年	(達成率)91.7 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評価	目標の 未達成 理由等	事業開始当初の令和2年度と比較して申請件数が減少しており、制度 に対するニーズが低下しているため、目標未達となった。	
		政策	—				
		施策	—				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		次年度 に向けた 改善点	申請件数が減少傾向にあることから令和7年度をもって事業を終了し た。			
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		令和7年度をもって終了		

事業 1-9	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	オープンファクトリー推進事業	予算額		2,000 千円		
			決算見込額		1,271 千円		
	事業概要	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	取組状況	事業結果	・令和7年10月に「ファクハク 静岡工場博覧会2025」を開催。 ・市内29社が工場を公開し、延べ2,939名の市民が参加した。 ・ファクハクへの参加が自社にとって有益と捉えた企業が83.3%となり、目標を上回った。 ・参加者の93%が「とても楽しかった」と回答しており、静岡市の製造業の魅力を発信することができた。		
	達成指標	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業 80%	達成状況	R8.3.31 現在	83.3%	(達成率) 104.1 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・参加者の81%が静岡市民だった。SNS等を活用し、市外へ向けても情報を周知できるよう発信する。 ・参加者がR6年の179%となったのに対し、工場を公開した企業(参加企業)はR6年の85%に留まった。イベントの成長に合わせて参加企業数も増加するよう、情報の周知や魅力の創出に取り組んでいく。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)					

事業 1-10	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	プラモデル化計画推進事業		予算額	17,150 千円		
				決算見込額	7,220 千円		
	事業概要	市民等が「プラモデルのまち」を体感できるプラモニュメントの設置などを通じ、本市のシティプロモーションとプラモデル産業のPRを進める	取組状況	事業結果	①民間企業のプラモデルデザイン活用に対する助成 ・プラモデルデザイン活用補助 1件 ・プラモニュメント設置補助 2件 ②PRキャンペーン等の実施 ・プラモニュメントデジタルスタンプラリーの開催 ・市民参加型のランナーアート製作実施 など		
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーマチ静岡」の認知度 80%	達成状況	R8.3.31 現在	89.8%	(達成率)112.3 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の未達成理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点	市民参加型のランナーアート制作について、参加人数に限られること、完成した絵を展示・PRする場所がないことなどから、プラモデル産業の環境への配慮の周知という事業目的に対する費用対効果が低いため、令和7年度をもって事業を終了した。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)		令和7年度をもって終了		

事業 1-11	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度			
	事業名	企業立地促進事業		予 算 額		1,200,316 千円		
				決算見込額		1,127,126 千円		
	事業概要	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進		取組 状況	事業結果	・市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めた。 ・工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費、事務所の賃借料に係る助成により企業立地を推進した。 ・首都圏企業の地方移転ニーズを取り込むため、関係団体や県東京事務所と連携し、情報発信や企業訪問等を行い、誘致交渉先となる企業の発掘に努めた。 【実績】 ・市内企業訪問・相談件数 1343件 ・市外企業訪問 162件		
	達成指標	企業立地件数 20件/年		達成 状況	R8.3.31 現在	24件/年	(達成率) 120 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業 評価	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します					
		施策	03 企業誘致と留置の推進					
産業振興 プランの 位置づけ	分野				次年度 に向けた 改善点	・市内企業における大規模な設備投資の相談が増加しているため、企業訪問等により企業ニーズを把握し、助成制度の拡充や企業の課題解決に向けた伴走支援により、企業立地の早期実現を後押ししていく。 ・首都圏のデジタル関連企業からの進出相談が増えてきているため、物件情報の提供や企業が特に課題としている人材確保のサポートを行うほか、企業ニーズに応じた助成制度を新設し、着実な企業立地に繋げていく。		
	政策							
	施策							
担当課等	産業基盤強化本部			そ の 他 (特記事項)				

事業 1-12	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和7年度	
	事業名	企業立地用地開発推進事業	予算額		20,270 千円
			決算見込額		12,602 千円
	事業概要	新規企業の進出・既存企業の生産性向上を促進し、企業誘致・留置を図るため、企業立地用地の確保を促進	取組状況	事業結果	・市内5地区の地権者を対象に戸別訪問を行い、現在の土地利用の状況や今後の土地利用の意向について、調査を完了した。 ・その結果、調査対象地区のうち2箇所で、将来企業用地として活用することに対して肯定的な回答が多く、市として産業団地開発の可能性があると判断することができた。 ・このため、地域ごとに地権者に対して、説明会を開催し、調査結果と併せて、今後の開発スケジュールや範囲などを決定するための開発可能性調査を次年度以降実施することなどを説明し、取組への理解と協力を求めた。
	達成指標	開発候補地における用地候補地調査実施箇所数 2箇所/年	達成状況	R8.3.31 現在	5箇所 (達成率)250 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由等	
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します			
		施策 03 企業誘致と留置の推進			
	産業振興プランの位置づけ	分野	事業評価	次年度に向けた改善点	・計画最終年度のR12年度に向け、事業の全体スケジュールに沿って計画的に進めることができていく。 ・今後用地創出を想定している箇所は、市街化調整区域で農地を含む箇所もあるため、土地をとりまとめることと併せて、開発行為や農地転用の許認可などの規制に関する基準や運用の見直し、手続きの簡素化などを進め、企業立地が可能となるようにしていく。
		政策			
		施策			

事業 1-13	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)				令和7年度	
	事業名	(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業		予算額		502,117 千円	
				決算見込額		502,117 千円	
	事業概要	物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施		取組 状況	事業結果	令和7年度においては、事業区間の4車線供用に向け、用地取得、道路工事を実施した。	
	達成指標	①道路工80mの実施 ②用地取得25件の実施		達成 状況	R8.3.31 現在	①道路工81m ②用地取得26件	(達成率)①101.3 (%) ②104
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑩ 社会基盤		事業 評価	目標の 未達成 理由等	
		政策	01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路整備を推進します				
		施策	02 広域から呼び込む道路ネットワークの形成				
産業振興 プランの 位置づけ	分野				次年度 に向けた 改善点	引き続き、事業推進に必要な予算を確保し、用地取得や工事を実施していく。	
	政策						
	施策						
担当課等	道路計画課		その他 (特記事項)				

事業 1-14	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理運営事業	予算額		48,428 千円		
			決算見込額		47,149 千円		
	事業概要	ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援及び広域物資拠点等公共的機能の提供	取組状況	事業結果	・貸館業務については、利用件数、利用日数、利用率とも昨年を上回った。施設を運営している産業振興協会が模型・ホビーと親和性のある新分野へのアプローチを積極的に行い、ホビー関連催事を多数開催したことも目標達成に寄与した。 ・南館地下駐車場泡消火設備修繕等13件の更新を実施し、施設の安全性及び機能を維持することで、災害時における広域物資拠点としての機能を確保した。		
	達成指標	施設利用率 40%以上/年	達成状況	R8.3.31 現在	50.1%	(達成率)125.3 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	引き続き、ツインメッセ静岡の機能維持、利用者の安全確保、災害対策を促進するため、静岡産業振興協会が実施する計画的な修繕・改修を支援する。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 1-15	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	越境EC支援事業		予算額	5,000 千円		
				決算見込額	4,956 千円		
	事業概要	越境ECに取り組む事業者に対し、専門家による伴走支援を行うことで、市内事業者の海外販路拡大を支援		取組状況	事業結果	専門家の支援のもと、市内事業者8社の商品を越境ECサイトに出品した。8月から順次出品し、6社の商品82点で計302千円の売上となった。	
	達成指標	支援者数 8社/年		達成状況	R8.3.31 現在	8社/年	(達成率)100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	別事業で海外展開支援を実施していること、費用対効果の点から当事業は令和7年度をもって終了した。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		令和7年度をもって終了		

事業 2-1	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度		
	事業名	中小企業事業高度化事業助成	予算額		42,000 千円		
			決算見込額		38,136 千円		
	事業概要	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠頭に機械設備を導入する経費の助成	取組状況	事業結果	・交付件数25件となり、生産性向上に資する機械設備導入が促進された。 ・交付した25件のうち、11件が、補助金交付要綱に定義する「省エネに資する機械設備」の設置となり、市内企業の省エネ化に寄与している。		
	達成指標	機械設備設置件数 26件/年	達成状況	R8.3.31 現在	25件/年	(達成率)96.2（％）	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等	金融機関への情報提供は行っていたものの、従来から連携のある一部支店へのチラシ配布が中心であり、行員の制度理解を深める取組や、製造事業者への直接的な案内など、周知が十分でなかった。このため、設備投資のニーズを有する事業者に制度を届けきれず、制度の活用が目標に達しなかった。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	03 新製品・技術開発に向けた支援				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	次年度は金融機関の補助金担当者と連携し、行員向け研修会を実施し、取引先事業者への案内を促す。また、過去に静岡市の補助制度を活用した事業者に対し、市からメール制度を直接案内するなど、周知手法を拡充する。	
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 2-2	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業 （製造業向けデータ活用）		予算額		14,000 千円	
				決算見込額		9,081 千円	
	事業概要	専門家の伴走支援による、製造事業者の生産性向上や受注増など競争力強化を図ることを目的とした、データ分析による製造工程の効率化		取組状況	事業結果	市内中小企業（製造業）10社に対して、Excelのマクロ機能活用による業務改善を伴走支援した。 ・支援回数10回（マクロに関する座学8回、現地訪問5回） ・成果発表会を開催し、市内中小企業に対して事例を展開（令和8年3月・111名参加） ・事例集を市HPに掲載し、市内中小企業約1,000社に展開 ・伴走支援で立案したデジタル活用計画の実現のため、希望する企業に対してデジタルツールを導入するための補助金を交付した。	
	達成指標	支援事業者数 10者/年		達成状況	R8.3.31 現在	10者/年	（達成率）100（％）
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	⑦商工・物流	事業	目標の未達成理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
	産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点	生産性向上のための取組を継続していく必要があるが、伴走支援の支援対象事業者には限りがあることが課題である。成功事例を公表する取組を実施しているものの、取組を行う事業者をさらに拡大させる取組について、専門家にも意見を求めながら関係機関と連携して検討する。	
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他（特記事項）		事業はR6年度より実施		

事業 2-3	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度		
	事業名	現場改善支援事業	予算額		72,653千円の一部		
			決算見込額		72,653千円の一部		
	事業概要	専門アドバイザー派遣による5Sや技術力向上、製品の付加価値化を支援	取組状況	事業結果	産業支援施設である静岡市清水産業・情報プラザにおいて、現場改善支援事業として専門アドバイザー派遣等を実施した。 【実績】 ・現場改善支援事業者数:13事業所 ・成果発表会:1回実施 その他講座:4講座実施 (現場改善関連1講座、IT関連1講座) 合計57名参加		
	達成指標	支援事業者数 12者/年	達成状況	R8.3.31 現在	13者/年	(達成率)108.3(%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の 未達成 理由等	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興 を推進します				
		施策	02 経営基盤・競争力の強化				
産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	業務改善の取組が一時的にならず、定着しているのかについてフォローアップを行う必要がある。専門アドバイザーの手が離れた後も業務改善について自走できる人材組織体制を構築するための支援が必要であると考えている。	
	政策						
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

事業 2-4	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度	
	事業名	産学連携事業 （産学共同研究委託事業）			予算額	80,032千円の一部
					決算見込額	75,828千円の一部
	事業概要	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等 と共同で取り組む調査・研究・開発を支援	取組 状況	事業結果	・基礎コースでは、主に「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題 で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択。 ・応用コースでは、主に「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究 が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に 実用化（商品化）が見込めるものを採択。 ・発展コースでは、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内 の課題で、研究が既に終了し、実用化（商品化）を目的とするものを採 択。 ・委託期間令和7年7月初旬～令和8年2月末日 ・委託契約件数 8件 ・令和8年3月19日に委託研究の成果発表会を行った。	
	達成指標	委託契約件数 6件/年	達成 状況	R8.3.31 現在	8件/年	（達成率）133.3（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベー ションの創出を推進します			
		施策	01 協働・共創体制の構築			
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・出口戦略は早期から検討する必要があるということから、R8年度から は事業のフェーズに合わせたコース再編を行い、販路開拓等を目的と した発展コースを廃止し、基礎コース・応用コースの2コースとした。 ・この変更に伴い、応用コースは、採択企業が事業開始時に出口戦略を 検討することとし、展示会等への出展に要する経費を新たに支援対象 に加えた。	
	政策					
	施策					
担当課等	産業政策課		その他 （特記事項）			

事業 2-5	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度		
	事業名	新商品開発支援事業（静岡商品開発プロジェクト）	予算額		80,032千円の一部		
			決算見込額		75,828千円の一部		
	事業概要	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援	取組状況	事業結果	・地域資源を活用した新商品開発をマーケティングを学びながら実践することで、事業者の商品開発力を向上させた。 ・令和6年度からは、開発対象を食品全般に拡大したことに加え、支援期間を1年間から2年間に拡充し新たに「販促フェーズ」を設けたことで、より出口に近い支援を実施中。 ・プロジェクト期間 令和7年6月中旬～令和8年3月末 ・参加事業者数 6社 ・マーケティング戦略に基づいた6商品が3月時点で完成		
	達成指標	新商品開発数 6件/年	達成状況	R8.3.31 現在	6件/年	(達成率)100(%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・旧おみやプロジェクトにおいて、参画事業者の減少や固定化がみられること、「おみや(=お土産)」にこだわらない食品開発支援を望む声があったことから、令和6年度から商品開発プロジェクトへとリニューアルした。 ・毎年、事業者募集において、対象事業者の確保に苦慮することから、効果的な周知やアプローチ方法を検討していく。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

事業 2-6	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度			
	事業名	オクシズ漆の里構想事業		予算額	4,000 千円			
				決算見込額	2,000 千円			
	事業概要	ウルシの生育管理を行い、市内産漆を製造することで、市内の重要文化財及び地場産業等での活用を目指す		取組状況	事業結果	・達成に向けて、植樹地の所有者に対し、苗や肥料の提供を行っているほか、市有林においては、草刈りや防護柵の管理を行うことで、既存の植樹地の維持管理をしている。 ・令和7年度においては、九州大学農学研究員の田端氏と連携した植樹地調査を実施し、ウルシ林造成の条件についてをまとめた。また、漆に関して多くの方に理解いただき、活動に賛同いただくために「オクシズ漆の学校」などの研修会、漆の未利用材を活用した商品の開発・販売を行った。 ①植樹地(1,661ha)の管理者への支援・・・実施 ②研修会等の開催回数・・・2回		
	達成指標	植樹地の維持		達成状況	R8.3.31 現在	植樹地の維持	維持(達成率)100（%）	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑧農林水産		事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	04 オクシズの地域資源の保全と活用を推進します					
		施策	02 オクシズ地域に受け継がれてきた文化や産業の活用					
産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	ウルシの管理者より、漆を栽培していく中で得た知見を管理者同士が共有する場が必要という声を受けたため、令和8年度は管理者同士の情報交換会を企画・開催する。		
	政策							
	施策							
担当課等	中山間地振興課		その他 (特記事項)		・令和元年度から始めた試験植樹は令和8年度に8年目を迎えるが、野生動物による食害を受けたり、日照時間が短い植樹地においては、生育に時間を要している。 ・その中でも、漆が搔ける程の個体が数本確認できているため、今後、漆掻きを実施し、市内重要文化財に使用するために、文化政策課をはじめとした関係各所と調整を進めていく。			

事業 2-7	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和7年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業 （製造業向けSIer活用）		予算額	8,000 千円		
				決算見込額	7,997 千円		
	事業概要	SIerを活用した製造工程の省力化・効率化 に向けた伴走支援		取組 状況	事業結果	市内中小企業（製造業）5社に対して、SIerの有するノウハウを活用し伴 走支援した。 ・支援回数5回（現地訪問） ・成果発表会を開催し、市内中小企業に対して事例を展開（令和8年3 月・5名参加）	
	達成指標	支援者数 5 者/年		達成 状況	R8.3.31 現在	支援者数 5 者/年	（達成率）100（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベー ションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・機器の導入費用について、直近での費用確保が難しく見積提示で止 まってしまうケースがみられる。 ・短いスパンで需要状況が変化していく業界では、生産体系も変化して いくことから機器導入が難しい。 ・県の制度の活用により事業目的を達成することが可能なため、令和7 年度をもって事業を終了した。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）		令和7年度をもって終了		

事業 3-1	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度	
	事業名	持続的発展に向けた競争力強化事業助成		予算額	11,937 千円	
				決算見込額	11,592 千円	
	事業概要	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	取組状況	事業結果	展示会に対する需要は引き続き回復基調にあり、R6年の事業活用件数39件からR7は45件と増加した。企業に本助成金の認知度は向上しており、R8はR7年以上の活用件数が見込まれる。	
	達成指標	事業活用件数 40件/年	達成状況	R8.3.31 現在	45件/年	(達成率)112.5 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の未達成理由等
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	03 新製品・技術開発に向けた支援			
産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点	国内外問わず、新商品開発から販路拡大、効果促進事業を総合的に支援し、新規取引先開拓による地域産業の発展を図る。	
	政策					
	施策					
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)			

事業 3-2	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	大規模展示会共同出展事業		予算額	6,274 千円		
				決算見込額	6,268 千円		
	事業概要	国内最大の展示会への共同出展による中小製造事業者の競争力の強化を支援		取組 状況	事業結果	・令和7年7月に幕張メッセで実施された「機械要素技術展」に市内中小製造事業者8社と共同出展を行った。 ・展示会全体の来場者は55,749人が来場、静岡市ブースにも多くの来場者が立ち寄った。	
	達成指標	名刺交換をした件数550件/年		達成 状況	R8.3.31 現在	647件	(達成率)117.6 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	当事業の認知度が向上しており、来年度以降の事業に参加したいと意思表示をする企業が増えてきていることから、採点基準に中小企業技術表彰を受賞しているなどの参加項目を追加し、平等な機会提供について検討していく必要がある。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 3-3	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和7年度		
	事業名	商品開発及び販路開拓支援事業	予算額		12,100 千円	
			決算見込額		11,361 千円	
	事業概要	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援（2か年計画 1年目：商品開発、2年目：販路開拓）	取組状況	事業結果	・R6年度に開発した7商品に対して、展示会出展、商談会出展、営業代行、商品改良を行った。 ・大規模展示会（東京ビッグサイトでのグルメショー）、首都圏での商談会（東京商工会議所、横浜産貿ホール）に出展し来場したバイヤーと商談を行った。 ・展示会及び商談会で得た意見をもとに、パッケージ改良や販促用POP作成等の支援を行った。 ・7事業者7商品で計46契約の成立に至った。 【対象商品】 有限会社西尾商店（静岡市）：いわし調味料 有限会社和田清商店（静岡市）：和三盆抹茶 梅工房おおいし（島田市）：味付きほぐし梅 寺岡銚吉商店（焼津市）：まぐろの佃煮 藤栄製茶（藤枝市）：玄米茶のブレンドティー M.みかん合同会社（牧之原市）：じゃばらサイダー 株式会社エナジーファーム（川根本町）：さつま芋羊羹	
	達成指標	事業進捗率 100% （2か年計画における各年度の事業内容の進捗率）	達成状況	R8.3.31 現在	100%	（達成率）100（%）
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	⑦商工・物流	事業	目標の未達成理由等	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します			
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点	首都圏に向けた商品開発ではなく、事業者の魅力を高める全国で売れることを目指した商品開発支援を行う。	
	政策					
	施策					
担当課等	産業振興課		その他（特記事項）			

事業 3-4	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	中小企業の海外展開に対する支援		予算額	7,900 千円		
				決算見込額	7,858 千円		
	事業概要	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	取組状況	事業結果	・台湾への販路拡大支援として、台湾企業との商品開発、台湾店舗によるテスト販売、受託事業者によるオンライン商談会、営業代行を実施した。 ・商談成立件数は27件であった。 ・商品開発は、静岡市のほうじ茶パウダーを使用した「ほうじ茶卵」を開発し、16店舗で販売を行った。また、セブンイレブンの実店舗やオンラインでも販売した。 ・テスト販売は台湾にある「ロイヤルパーク」11店舗で行い、抹茶クロワッサンやほうじ茶麺を販売した。		
	達成指標	商談成立件数 36件以上/年	達成状況	R8.3.31 現在	27件/年	(達成率)75 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の未達成理由等	原料不足により供給量が減少し、価格が高騰していることが、商談成立件数に影響したため。特に、抹茶、わさび、日本酒について、見積価格が高いことから商談成立に至らなかったケースがあった。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
	産業振興プランの位置付け	分野		評価	次年度に向けた改善点	・新たに、台湾バイヤーを静岡市に招いて個別商談会を実施して、商談成立につなげる。 ・物価が高騰している中、台湾市場の具体的なニーズを深く理解した上で、受け入れられる価格設定をする等、緻密な商談や商品開発を行う。 ・単年度で契約が成立するものばかりではなく、前年度以前に商談を開始していた案件が成約に至ることもあるため、継続した支援を行う。	
政策							
施策							
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)				

事業 3-5	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成	予算額		3,959 千円		
			決算見込額		3,959 千円		
	事業概要	静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援	取組状況	事業結果	市内開催又はオンライン開催のセミナー件数は、前年度よりも増加したものの、目標を下回った。 【セミナー内容】 ・外国人材採用セミナー ・商談スキルアップセミナー 【相談内容】 ・貿易投資に関する相談 189件 ・海外販路拡大の一貫支援、輸出の個別支援等の相談サービスの利用 75件		
	達成指標	セミナー開催回数 6件/年	達成状況	R8.3.31 現在	4件/年	(達成率)66.7 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等	指標としているセミナー開催回数は、市内事業者が参加できる、市内開催とオンライン開催の合計数としている。市内開催は、R5が2回、R6が3回、R7が4回と少しずつ増加しているが、オンラインでのセミナーがR6以降開催されなくなったため、合計数としては目標に届かなかった。オンライン開催がなくなった理由は、直接顔を合わせてのセミナーのほうが効果的との考えからであるが、現地開催は会場費等の費用がかかることから、オンラインと同数の実施は難しかった。	
		政策	—				
		施策	—				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	セミナー開催件回数は、日本貿易振興機構静岡貿易情報センターの決定に委ねられていることから、次年度以降の達成指標は、「市内企業に対する相談対応件数」とする。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 3-6	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	伝統工芸等ものづくり事業者支援事業		予算額	4,094 千円		
				決算見込額	3,993 千円		
	事業概要	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	取組状況	事業結果	意欲的な伝統工芸等の異業種でのものづくり職人を対象に商品開発、ブラッシュアップを行い、各種プロモーション活動を展開。さらに首都圏展示館出展等をはじめ販路開拓を実施した。 ・参加職人：木工指物、挽物、和染、蒔絵、畳、アクリル加工等 ・プロモーション活動：HP及び各種SNSでの発信 ・展示会出展：ギフトショー（ビッグサイト）出展他 ・販路開拓：駿府楽市での企画販売、常設化、HP及びカタログ作成、ECサイト整理		
	達成指標	展示会等出展 1回/年	達成状況	R8.3.31 現在	1回/年	(達成率) 100 (%)	
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	⑦商工・物流		事業	目標の未達成理由等	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プランの位置づけ	分野			評価	次年度に向けた改善点		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他（特記事項）		令和7年度をもって終了		

事業 3-7	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	ニューウェーブしずおか創造事業助成（地場産業支援事業）		予算額	6,437 千円		
				決算見込額	6,389 千円		
	事業概要	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成		取組状況	事業結果	地域産業界を対象に製造業を中心としたメーカーで研究会を組織化、開発商品の検討・決定、デザイナーの選定、デザイン開発、試作及び展示発表を実施。 1 参加者：製造メーカーなど6社、デザイナー6組、プロデューサー1名など 2 開発テーマ：つなぐデザイン The 14th edition 3 内容：商品開発の検討、決定、デザイン開発を行い、東京インターナショナルギフトショーで展示発表を実施	
	達成指標	参加事業者数 6 者/年		達成状況	R8.3.31 現在	6 者/年	(達成率) 100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の 未達成 理由等	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	魅力ある商品を開発できるよう、参加事業者とデザイナーとの連携を強化していく。
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 3-8	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	特産品展示コーナー（駿府楽市）運営事業	予算額		16,481 千円		
			決算見込額		16,478 千円		
	事業概要	地場産品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府楽市「特産品展示コーナー」での企画展示	取組状況	事業結果	・JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間25回の展示会を開催した。 R7来場者数 372,770人 隣接する駿府楽市での工芸品のR7年間売上金額 44,993千円 ・季節や行事に合わせた展示会を行い、訪れる人々に工芸品の魅力を効果的に伝えることができた。		
	達成指標	工芸品の年間売上金額 31,600千円/年	達成状況	R8.3.31 現在	44,993千円/年	(達成率)142.4 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		次年度 に向けた 改善点	(改善点) ・施設の市民認知度が高い状況ではなく、来店者層は高齢であることが多いため、若年層を含めた新たな来店者層の開拓が求められる。 ・来店者数はJR静岡駅の利用者数の増減に大きく影響を受ける傾向があるが、駅利用者に依存しないリピーターの獲得など、新たな集客基盤の構築が必要である。 ・令和5年度以降、コロナ禍のリベンジ消費の影響を受けて増加しているものの、過去からの推移を見ると全体としては減少傾向にある。 (改善策) ・令和8年度の大規模改修工事では、店舗入口の増設(2か所→4か所)、大型LEDビジョンの設置、商品陳列方法の刷新、地場産品PRスペースの新設、伝統工芸品紹介コーナーなどを充実させることにより、駅利用者からの視認性が向上し、開放的で明るい雰囲気の店構えとする。 ・従来の特産品展示・販売機能だけでなく、静岡県内の伝統工芸などの地域産品や観光地を発信する情報拠点としての役割の強化を図る。		
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)					

事業 3-9	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	産業フェアしずおか開催事業助成	予算額		13,822 千円		
			決算見込額		13,822 千円		
	事業概要	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	取組 状況	事業結果	・来場者は指標に届かなかったものの、89%の来場者がイベントに満足しており、満足度は高い。 ・来場者のうち約3割が初来場であり、チラシやSNSでの広報が集客につながっている。		
	達成指標	来場者数 52,500人/年（R7）	達成 状況	R8.3.31 現在	45,700人/年	（達成率）87（%）	
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流		事業	目標の 未達成 理由等	SNS等での発信により新規来場者を獲得したものの、来場者増加につながる訴求力の高い企画が十分でなく、目標に達しなかった。
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	来場者数は天候や周辺施設での催事の開催といった外的要因に左右されるため、令和8年度以降の達成指標は「出展事業者の満足度90%以上、来場者の満足度90%以上」とする。	
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）				

事業 3-10	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	伝統工芸品産業育成・振興事業 （しずおか特産品まつり）		予算額	3,627 千円		
				決算見込額	3,625 千円		
	事業概要	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催		取組状況	事業結果	・春の市では1日目の天候が悪化し、14時には全ての出展者が退去した。 ・秋の市では2日目の天候が悪化し、正午までの開催とした。 ・天候悪化による開催時間の短縮に伴い来場者数、売上が低迷した。 来場者数：春の市3,300人、秋の市4,100人	
	達成指標	来場者数（春・秋） 6,900人/年		達成状況	R8.3.31 現在	7,400人/年	（達成率）107.2（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・天候の影響を受け、前年度比半数以下の来場者数となった。 ・開催時期や悪天対応、開催規模について見直しを検討する。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）				

事業 3-11	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度			
	事業名	ホビーのまち静岡推進事業		予算額	78,217 千円			
				決算見込額	76,464 千円			
	事業概要	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成		取組状況	事業結果	市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで市のブランド化及び地域経済の活性化を図った。 ①ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業への補助金交付 （主な事業） ・クリスマスフェスタ ・ホビースクエア展示事業 ・市内ホビー関連イベントへの協力 ②静岡ホビースクエアの施設維持管理 ・大規模施設修繕を1件実施 ・警備、保守等の年間委託 ・光熱水費等の支払い ・管理組合への負担金、修繕積立金の納入		
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%		達成状況	R8.3.31 現在	89.8%	(達成率)112.3 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑥観光・交流		事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します					
		施策	02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり					
産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	静岡ホビースクエアは展示内容の固定化などにより年間来場者数が概ね3万人で頭打ちとなっており、建物の老朽化に伴う修繕費高騰も相まって、その役割や機能について検討が必要な時期に来ている。 令和8年4月に設置する庁内関係課によるプロジェクトチームにおいて、今後の最適な施設像を検討する。		
	政策							
	施策							
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 3-12	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度			
	事業名	ホビー産業育成支援事業		予算額	3,829 千円			
				決算見込額	3,426 千円			
	事業概要	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信		取組状況	事業結果	本市が全国に誇る模型、プラモデルを活用したイベントや情報発信を行うことで、「ホビーのまち静岡」の認知度向上に努めた。 ①ミナト★ホビーフェス 【実施概要】 親子向け模型体験イベント 【会場】 エスパルスドリームプラザ 【来場者数】 2,201人 ②情報発信・PR静岡市と模型をテーマにしたパンフレット「模型の世界首都・静岡」を改訂（増ページ）し、各種イベント等で配布した。 【作成部数】 5,000部 【主な配布場所】 静岡ホビーショー、市内ホビー関連イベント会場、静岡ホビースクエア		
	達成指標	市内イベント参加者の「ホビーのまち静岡」の認知度 80%		達成状況	R8.3.31 現在	89.8%	(達成率) 112.3 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑥観光・交流		事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します					
産業振興 プランの 位置づけ	施策	02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		評価	次年度 に向けた 改善点	「ミナト★ホビーフェス」を同じく清水区で開催されている「清水ホビーショー」と統合することで、より大きな費用対効果が期待できることから、令和7年度をもって廃止した。		
	分野							
	政策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		令和7年度をもって一部の取組を終了			

事業 3-13	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度		
	事業名	プラモデル化計画推進事業（コラボイベント創出事業）		予算額	650 千円		
				決算見込額	207 千円		
	事業概要	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベントの創出	取組状況	事業結果	・コラボイベントの実施件数3件の達成に向けて、企業・団体等と連携し、プラモデルに関するイベントやプラモニュメントのグッズ化などを下記のとおり実施した。 ・コラボイベント事業12件（親子模型フェス、静岡鉄道によるBHCPDⅡ開業記念コラボ施策 等） ・プラモニュメントのグッズ化1件（ミニチュアキーホルダー）		
	達成指標	コラボイベントの実施件数 3 件/年		達成状況	R8.3.31 現在	12件/年	(達成率)400 (%)
	総合計画の位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の未達成理由等	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
	産業振興プランの位置づけ	分野			評価	次年度に向けた改善点	目標を大きく上回る実績となったが、今後はより効果的、効率的にプラモデルに触れる機会が少ない層への訴求につながる事業を重点的に実施する。
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 3-14	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和7年度			
	事業名	工芸品価値創造事業		予算額	20,000 千円			
				決算見込額	18,266 千円			
	事業概要	伝統工芸品に係る市場調査、ブランディング及びマーケティング戦略の立案、新商品の企画・開発、国内外への販路開拓・確立を総合的に支援することで、持続的なビジネスモデルを創出する		取組状況	事業結果	①市場調査 ・国内の工芸品市場を中心に各種マーケティング分析や製造の検証等を行い、事業方針書を作成した。 ②商品開発によるTGCへの出品 ・駿河和染や竹千筋細工などの新商品開発を行い、1月にツインメッセで開催された「TGC」へ出品した。 ③FOOD EXPOへの出展によるテスト販売 ・11月にロサンゼルスで開催された「FOOD EXPO」へ開発品を出展しテスト販売を実施した。 ④モニタリング調査の実施 ・地元宿泊施設（日本色、和楽等）に既存商品を設置してもらい来場者の反応等をリサーチした。		
	達成指標	工芸品価値創造事業実行委員会の開催 2回/年		達成状況	R8.3.31 現在	2回/年	(達成率) 100 (%)	
	総合計画の位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流		事業	目標の未達成理由等		
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します					
		施策	01 新市場・販路開拓に対する支援					
	産業振興プランの位置づけ	分野			評価	次年度に向けた改善点	次年度は、欧州（ウィーン）や豪州、国内の「大日本市」など、美術工芸や生活雑貨に関心の高い層が集まるイベントに限定して出展することで、より効果的なテストマーケティングを実施する。	
		政策						
施策								
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)					

事業 4-1	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度		
	事業名	地場産業後継者育成事業 （クラフトマンサポート事業）		予算額	11,700 千円		
				決算見込額	10,980 千円		
	事業概要	「クラフトマンサポート事業」として地場 産業界の後継者の確保、若手職人の育成・ 定着を支援		取組 状況	事業結果	地場産業界の後継者育成及び新規就業に対する補助金を交付する。 ・現場実習長期支援事業 新規3人 ・雇用奨励金 新規3人	
	達成指標	新規制度利用者数（長期支援・雇用奨励） 5人/年		達成 状況	R8.3.31 現在	6人/年	(達成率)120 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材 の活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・手続きの簡素化など、申請者の負担を減らす取り組みが必要である。 ・雇用奨励については、令和4年度に制度見直しを行い、利用者数が増加したことで、若手職人の業界定着を図ることができた。制度設立から20年以上経過しているため、他の制度についても見直しを検討していく。	
政策							
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 4-2	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度		
	事業名	伝統工芸技術アーカイブス事業		予算額	4,917 千円		
				決算見込額	4,733 千円		
	事業概要	伝統工芸技術で存続の危機にある技法を映像化等によりアーカイブし保存、継承を図る		取組 状況	事業結果	保存対象となる技術を決定し、うち下記技術を保存した。更に高い技術による工芸品作品を購入することでアーカイブを実施した。 ・アーカイブ対象技術：駿河塗下駄、駿河和染、木工指物 ・技術保持職人による技術工程の映像制作：1本 （Blue-Ray 10枚、DVD 20枚） ・購入保存工芸品：駿河塗下駄、駿河和染、木工指物	
	達成指標	映像化本数 1本/年		達成 状況	R8.3.31 現在	1本/年	(達成率)100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材 の活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	令和元年からの事業実施により当初の目的を果たしたと判断し、令和7年度をもって事業を終了した。	
政策							
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)		令和7年度をもって終了		

事業 4-3	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度			
	事業名	地場産業支援事業助成（伝統工芸技術保存講習会）		予算額	1,800 千円			
				決算見込額	1,710 千円			
	事業概要	業界の若手後継者に対する「伝統工芸技術保存講習会」の実施に係る経費の助成		取組状況	事業結果	地元熟練職人を講師に、後継者となる若手職人が受講者となり夜間講習にて開催した。 ○開催部門：漆器、竹、駿河竹千筋細工、蒔絵、拭漆（5部門） ○開催時期：令和7年5月から令和8年3月 ○参加者：地元業界従事者 37名 ・漆器の部：20日間・受講者10名 ・駿河竹千筋細工の部：11日間・受講者8名 ・木工の部：17日間・受講者5名 ・蒔絵の部：18日間・受講者9名 ・拭漆の部：5日間・受講者5名		
	達成指標	講習会参加者数 延べ36人/年		達成状況	R8.3.31 現在	延べ42人/年	（達成率）116.7（％）	
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流		事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します					
		施策	01 次世代を担う人材の育成					
	産業振興 プランの 位置づけ	分野			評価	次年度 に向けた 改善点	・講師の高齢化や減少による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加させているが、一層の若手化を図る必要がある。 ・高度技術のコース設定も検討していたが職人の枯渇により実施困難となったため、異なる方向性のコースを検討していく。	
		政策						
施策								
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）					

事業 4-4	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度	
	事業名	中小企業DX等人材育成支援事業		予算額	2,000 千円	
				決算見込額	1,012 千円	
	事業概要	事業者が従業員向けに実施するリスクリングに係る経費の一部を助成		取組状況	事業結果	令和7年度は、補助の対象となる講座をポリテクセンター静岡等の公的機関に限定せず、申請者にとって有効と認められる場合は、民間の教育サービスを実施した際にも補助の対象となるよう補助金を運用したが、周知が不十分であった。
	達成指標	当該事業を活用し、人材育成に取組む事業者数 15件/年		達成状況	R8.3.31 現在	12件/年 <

事業 4-5	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度		
	事業名	技能功労者表彰事業	予算額		631 千円		
			決算見込額		483 千円		
	事業概要	市の産業の向上に寄与し、又は功績のあった技能者を静岡市技能功労者として表彰	取組 状況	事業結果	静岡市技能功労者を19名表彰した。		
	達成指標	表彰者数 26者/年	達成 状況	R8.3.31 現在	19者/年	(達成率)73.1 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等	現行の要件に該当する技能者数の減少により、受賞者数が減少傾向にある。	
		政策	—				
		施策	—				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	対象職種などの応募要件について、関係団体との連携を通じ、受賞対象者の確保に取り組む。	
政策							
施策							
担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)				

事業 4-6	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度		
	事業名	中小企業技術表彰事業	予算額		2,212 千円		
			決算見込額		909 千円		
	事業概要	新規、又は独自性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を行う中小製造事業者を表彰	取組 状況	事業結果	・中小製造業事業者の技術表彰を実施した。 ・関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 ・受賞企業については、受賞式の開催や雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上に努めた。 表彰事業者：4者		
	達成指標	表彰者数 2者以上/年	達成 状況	R8.3.31 現在	4者/年	(達成率)200 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	表彰を受けた企業の認知度向上や販路開拓実績を把握できないことから令和7年度をもって事業を終了した。	
政策							
施策							
担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)		令和7年度をもって事業終了			

事業 4-7	ものづくり 基本計画	方針（知識と技術をもち活かせる人づくり）			令和7年度	
	事業名	多様な人材の活躍応援事業所表彰事業及び 取組の見える化		予算額	242 千円	
				決算見込額	257 千円	
	事業概要	女性をはじめとした多様な人材の活躍促進 に積極的に取組む事業所を表彰	取組 状況	事業結果	・多様な人材の活躍応援事業所表彰事業を実施した。 表彰事業者数 5者 ・関係機関を通じて募集活動を行うなど、応募事業者の増加に努めた。 ・制度及び受賞企業の認知度向上のため周知に努めた。 企業表彰式の開催 表彰企業紹介冊子の作成	
	達成指標	表彰者数 5者/年	達成 状況	R8.3.31 現在	5者/年	(達成率)100 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等	
		政策	—			
		施策	—			
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	表彰事業の認知度向上に向け、引き続き各支援機関を通じた企業への 情報提供を行うとともに、受賞企業の取組を広く周知するため、新たな 広報手法の検討を進める。
		政策				
施策						
担当課等	商業労政課		その他 (特記事項)			

事業 5-1	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）			令和7年度		
	事業名	プラモデル化計画推進事業 （ものづくりプラモデル大学）		予算額	1,000 千円		
				決算見込額	950 千円		
	事業概要	「模型の世界首都・静岡」で「プラモデル」業界を支える人材の育成を目的に、業界関係者とともに「プラモデル」について学ぶ実践的な講座		取組状況	事業結果	・「模型の世界首都・静岡」を支える人材を育成するため、プラモデル業界の各方面で活躍する講師を招聘し、全7回の講座を実施した。 ・令和7年度受講生26名、修了生23名。 ・これまでの修了生は、プラモデル制作体験イベントの開催や、模型喫茶の開店、ホビー知識を活かした市内観光ガイド等、本講座で学んだノウハウを自身の活動に活かし、「模型の世界首都・静岡」を盛り立てている。	
	達成指標	講座受講者の満足度 80%/年		達成状況	R8.3.31 現在	80.6%	（達成率）100.8（%）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	R3～R7で延べ100人の修了生を輩出したため、市民活動者の育成という講座の目的を一定程度達成したと判断し、今年度で廃止とする。 今後は、修了生が活躍できる場の創出（模型イベントでの製作体験の講師等）に注力する。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）		令和7年度をもって終了		

事業 5-2	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）			令和7年度		
	事業名	プラモデル化計画推進事業 （ものづくりキャリア教育）		予算額	1,530 千円		
				決算見込額	746 千円		
	事業概要	静岡大学教授及び模型メーカー社員を講師として学校へ派遣し、本市のプラモデル産業を知り・体験し・理解する「ものづくりキャリア教育推進事業」を実施		取組 状況	事業結果	模型メーカーと連携し、市内の小学校を対象にプラモデルを活用した出前授業を実施し、プラモデルの魅力、ものづくりへの興味関心を高めた。 【実施校数】 15校 【参加児童数】 938人	
	達成指標	授業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%		達成 状況	R8.3.31 現在	94%	（達成率）104.4（％）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由等		
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	02 本市産業特性の活用				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	申込方法の電子化、小学校への案内回数増等に申込校数の増加を図ったが申込校数は例年並みであった。引き続き小学校への参加勧奨強化方法を検討する。		
政策							
施策							
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）				

事業 5-3	ものづくり基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）		令和7年度	
	事業名	プラモデル化計画推進事業（静岡ホビーショー小中高生招待）		予算額	4,540 千円
				決算見込額	4,340 千円
	事業概要	静岡ホビーショー小中高生招待日において、市内小中高生の招待事業の実施及び模型メーカー等と協した合同体験会の運営	取組状況	事業結果	市がバスを借り上げ、市内小中高生をホビーショーへ招待した。また、模型メーカーほか9企業・団体と協働で小学生向けの合同体験会を実施し、多くの児童生徒にプラモデルの魅力に触れる機会を創出した。 【小中高生招待日参加児童生徒】 3,129人 【合同体験エリア参加児童】 1,575人(参加児童の50.3%)
	達成指標	招待事業を通じてものづくりに興味を持った児童の割合 90%	達成状況	R8.3.31 現在	92% (達成率)102.2 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由等
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します		
		施策	02 本市産業特性の活用		
	産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点
		政策			
		施策			
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	

事業 5-4	ものづくり基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）		令和7年度	
	事業名	プラモデル化計画推進事業（全国プラモデル選手権大会）		予算額	3,550 千円
				決算見込額	3,550 千円
	事業概要	全国の高校生を対象にしたプラモデルの展示会及びコンテスト	取組状況	事業結果	第2回大会実施概要 【開催日】令和7年12月12日(土)、13日(日) 【参加校数】61校、243名の生徒が参加 【出展作品数】247作品 【来場者数】4,597名 令和6年度に引き続きクリスマスフェスタと同時開催したが、本大会を含むクリスマスフェスタ全体で昨年並みの来場者数を維持した。(本大会開催前のクリスマスフェスタ来場者と比較して、来場者が約12,500人増加) また、第2回大会では、会場に來られない関係者等に考慮し、YouTubeでの大会生配信を実施した。
	達成指標	全国大会への参加校数 50校	達成状況	R8.3.31 現在	61校 (達成率)122 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由等
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します		
		施策	02 本市産業特性の活用		
	産業振興プランの位置づけ	分野		評価	次年度に向けた改善点
		政策			
		施策			
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	第2回大会は、応募開始時期を第1回大会より2ヶ月前倒し、十分な参加校募集周知期間を確保することで、大会規模が拡大した。更なる参加校増加のため、これまでのSNSでの告知、全国47都道府県教育委員会への周知に加え、チラシによる関係機関、施設、関連イベント等への配布やSNS更新頻度の向上、模型関連イベント参加高校への勧誘を強化する。

事業 5-5	ものづくり基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）			令和7年度	
	事業名	こどもクリエイティブタウンでのしごと・ものづくり講座（こどもクリエイティブタウンでの職場体験等）		予算額	118,280 千円	
				決算見込額	114,654 千円	
	事業概要	仕事体験やものづくり体験を通じて、社会や経済の仕組みを学び、地域産業に対する理解促進を図るとともに、次世代を担う人材を育成する		取組状況	事業結果	こどもバザール 年間141日開催 しごと・ものづくり講座 338講座開催（年間目標240講座） こどもバザールの開催や、年間目標を大幅に超えるしごと・ものづくり講座の開催を行い、しごとやものづくり体験をすることで、社会や経済の仕組みを学ぶ機会の提供や、地域産業に対する理解促進を図るとともに、次世代を担う人材の育成に寄与できた。
	達成指標	年間利用者数 100,000人/年		達成状況	R8.3.31 現在	113,627人/年 <

事業 5-6	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）			令和7年度		
	事業名	地場産品体験学習事業	予算額		4,950 千円		
			決算見込額		4,673 千円		
	事業概要	ものづくりと地場産品に対する興味を喚起し、地場産業のPRと将来の後継者育成を図る	取組 状況	事業結果	市内小学校の地場産品体験学習実施に対する補助金を交付 ・対象経費 創作体験料 ・上限額:生徒一人当たり2,400円 ・実績 申込校数 35校		
	達成指標	体験学習申込学校数 延べ40校/年	達成 状況	R8.3.31 現在	35校/年	(達成率)87.5 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業	目標の 未達成 理由等	市内の全小学校のうち参加申込校が43%程度にとどまり、事業の認知や体験内容・教育的効果の周知が十分でなかったため、参加校数が伸びず、目標を達成できなかった。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	01 次世代を担う人材の育成				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	市内の市立小学校の校長会での説明資料をよりわかりやすい記載に工夫するなどして、体験の意義や魅力を伝えていく。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 5-7	ものづくり基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）		令和7年度	
	事業名	駿府匠宿運営事業	予算額		255,805 千円
			決算見込額		227,159 千円
	事業概要	駿府匠宿の運営及び創作体験や展示を通じた工芸に親しみ歴史に触れる機会の提供	取組状況	事業結果	市民が伝統工芸等に親しむとともに、東海道の歴史を学ぶことができる場を提供する。 ・創作体験者数: 37,904人 ・利用者満足度: 95.8%
	達成指標	創作体験者数 30,000人/年	達成状況	R8.3.31 現在	37,904人/年 (達成率) 126.3 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します 施策 01 次世代を担う人材の育成	事業評価	目標の未達成理由等	
	産業振興プランの位置づけ	分野 政策 施策		次年度に向けた改善点	・創作体験者数及び満足度は高い水準を維持しているが、更なる利用者拡大に向けて体験内容の充実や効果的な情報発信が課題である。 ・指定管理制度に成果連動方式を導入し、創作体験者数に応じた指定管理料を加算することを通じて、創作体験の質の向上と情報発信の強化を図る。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

事業 5-8	ものづくり基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）		令和7年度	
	事業名	生涯学習施設でのものづくり体験学習機会の提供	予算額		指定管理料の一部
			決算見込額		指定管理料の一部
	事業概要	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	取組状況	事業結果	【R7実施状況】 プラモデル関連講座 : 7講座 プログラミング関連講座: 10講座 工芸関連講座 : 24講座 工場見学 : 2講座 プログラミング関連講座や工芸関連講座などを多数実施し、ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を次世代を担う子どもたちに提供することができた。
	達成指標	主に小学生を対象とした機会提供数 ①8施設②12講座	達成状況	R8.3.31 現在	①24施設 ②43講座 (達成率) ①300 ②358.3 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 — 政策 — 施策 —	事業評価	目標の未達成理由等	
	産業振興プランの位置づけ	分野 政策 施策		次年度に向けた改善点	ものづくり産業の次世代を担う人材の育成には、継続的な取り組みが必要であるため、主に小学生を対象としたものづくりへの興味や楽しさを育む体験機会や学習機会を生涯学習施設で提供し続けていく。
	担当課等	生涯学習推進課	その他(特記事項)		

事業 5-9	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）			令和7年度		
	事業名	地元就職・UIJターン就職促進事業	予算額		11,282 千円		
			決算見込額		11,018 千円		
	事業概要	市内で働く社会人との交流機会を提供し、若者の企業研究や就労意欲の促進を図る	取組状況	事業結果	・若者の市内企業研究の促進及び市内企業への就職促進を目的とするものであり、市内への就職関心度の向上を目指している。 ・令和7年度においては、就職支援情報誌の発行、HPの管理運用、ワークショップ等のキャリア形成支援プログラムを実施し、市内企業への就職関心度、本事業が進路決定の参考になった割合ともに9割を超えるといった効果があった。 ・就職支援情報誌：発行 ・プログラム実施校数：9校		
	達成指標	①市内企業への就職関心度（大学生向）：96% ②本事業が進路決定の参考になった割合（高校生向）：97%	達成状況	R8.3.31 現在	①87.2% ②98.5%	(達成率)①90.8 ②101.5 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由等	市内企業や本市との接点が少ない学生層へアプローチするため、令和7年度は、対象者を市内大学生から首都圏大学生へ変更したことにより従来より関心度が低くなったと考えられる。なお、結果として就職関心度は目標値に達しなかったものの、市内企業への理解や興味・関心の向上につながり、首都圏学生に対する新たなUIJターン就職促進の取組として一定の成果を得ることができた。	
		政策	04 企業の活性化を支える多様な人材の活躍を推進します				
		施策	03 人材と企業の交流の場の創出				
産業振興 プランの 位置づけ	分野		次年度 に向けた 改善点	さらなる市内企業と学生等との交流機会の創出、市内企業の情報発信を行う。			
政策							
担当課等	商業労政課	その他 (特記事項)					

事業 5-10	ものづくり 基本計画	方針（地域産業を学び支える人づくり）				令和7年度	
	事業名	地域産業地域おこし協力隊		予算額		18,050 千円	
				決算見込額		5,473 千円	
	事業概要	地域おこし協力隊により地場産品・伝統工芸品の情報発信の強化、販売促進、担い手育成の支援の実施		取組状況	事業結果	・隊員数:2名(うち、1名は令和7年5月末をもって活動終了) ・活動内容:デジタルツールを活用したPRの実施、EC強化・拡充、Webサイトの見直し、顧客調査分析、新商品開発、伝統工芸品利活用企画などの事業を実施した。	
	達成指標	地域おこし協力隊の隊員数 2 名		達成状況	R8.3.31 現在	1名	(達成率)50 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野		事業	目標の 未達成 理由等	当初は令和7年4月1日から令和8年3月31日まで地域おこし協力隊員1名の活動を予定していたが、当該隊員の所用により令和7年5月31日をもって活動を終了した。年度途中での募集では十分な活動期間の確保が難しいことから、追加募集は実施しなかった。	
		政策					
		施策					
産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	年度途中での隊員数の減少を踏まえ、任用後の定期的な面談や活動内容の見直しなど、隊員の継続的な成長と定着を支援する体制を強化する。これにより、高い専門性と意欲を持った隊員を確保し、地域課題の解決と持続的な地域活性化に取り組んでいく。		
	政策						
	施策						
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				

事業 5-11	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和7年度		
	事業名	(再掲)オープンファクトリー推進事業	予算額		2,000 千円		
			決算見込額		1,271 千円		
	事業概要	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	取組状況	事業結果	・令和7年10月に「ファクハク 静岡工場博覧会2025」を開催。 ・市内29社が工場を公開し、延べ2,939名の市民が参加した。 ・ファクハクへの参加が自社にとって有益と捉えた企業が83.3%となり、目標を上回った。 ・参加者の93%が「とても楽しかった」と回答しており、静岡市の製造業の魅力を発信することができた。		
	達成指標	オープンファクトリーへの参加が自社にとって有益だったと捉えた企業80%	達成状況	R8.3.31 現在	83.3%	(達成率)104.1 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業	目標の 未達成 理由等		
		政策	—				
		施策	—				
	産業振興 プランの 位置づけ	分野		評価	次年度 に向けた 改善点	・参加者の81%が静岡市民だった。SNS等を活用し、市外へ向けても情報を周知できるよう発信する。 ・参加者がR6年の179%となったのに対し、工場を公開した企業(参加企業)はR6年の85%に留まった。イベントの成長に合わせて参加企業数も増加するよう、情報の周知や魅力の創出に取り組んでいく。	
		政策					
施策							
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)				